

談話会通信 No 33

目次	新入・住変・お知らせ	1
	きまぐれポスト	2
	会費局はより・お知らせ	7
	伝言板・掲示板	8

東京蜘蛛談話会

一年は、早いものでもう11月となってしまいました。今、盛んに目につくジョロウグモもあとわずかの命となってしまい、クモも越冬に入る時期となってまいりました。これからは、デスクワクが多くなることと思われませんが、冬のクモも外で観察してみたいかがですか。

○新入会員

北田 博明さん 〒258 神奈川県足柄上郡大井町金手 1099 長川 市

島根 勝美さん 〒343-01 埼玉県北葛飾郡松伏町大川戸 88-2.

○住所変更

山川 守 さん 〒204 神奈川県横浜市保土ヶ谷区新井町 127-3

馬場 武彦さん 〒810 福岡県福岡市中央区舞鶴 2-7-21-402

熊田 憲一さん 〒190-11 東京都西多摩郡羽村町羽加美 3-6-31

三 会 台 同 例 会 予 告

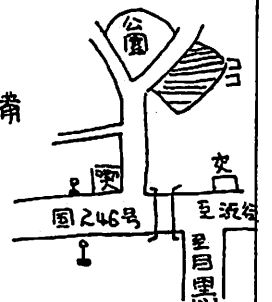
いよいよ今年も、あと2ヶ月をあまりはかりとなってしまいました。来る12月21日(日)に恒例の三会合同例会を会催する予定であります。皆様にはあらためて御連絡が届くと思いますが皆様の予定の中へ入れておいて下さい。

日時 12月21日(日) 10時より

場所 目黒区大橋区民会館。

* 発表を希望される方は、いまのうちから準備しておくと良いと思います。

尚、今年の世話人は、多足類の高野光男さんです。



きまぐれ水

ポスト

(自分のページ みんなのページ)

▶ 鈴木 勝浩 さんより

● 三宅島にいたトリノフンダマンの仲間

私は今年、三宅島にいきました。正体不明のトリノフンダマンの仲間の卵の採集することができました。三宅島には、1977、1978に続いて今回が3度めの蜘蛛採集です。

1977年には、ホンヒメグモモドキを採集しはじめ、頭部に突起がなく、触角が長くないヤリグモの卵なども採集しました。1978年には、昨年と同様に、ヤリグモの卵を採集しました。また、ホンヒメグモモドキ、ヤシラシラモ(おれいち)を採集しました。今年は何と、トリノフンダマンの仲間の卵の採集をしました。トリノフンでも、オオトリでも、ソメワケでも、アカイロでもありません。6日に採集した卵のうは、東京で6日間にemegenceしました。ようやく、トリフンの仲間が、この国気のわかりだした私ですが、今までの2回の採集旅行ではトリフンの仲間がみつからなかったもので、三宅島には、トリフンの仲間はいないかと断定していたのです。ところが今回の採集で、トリフンの仲間の卵の採集した私は、やっぱり、まだまだ未熟なんだなと、つくづく感じています。一時は、トリフンの臭いがするといっで、トリフンの仲間をみつけた私なのですが……。こうなること、三宅島にいるトリノフンダマンの仲間が何なのか、興味が湧いてきました。トリノフンダマンの仲間を山に連れて、日本ではNo.1 or No.2の山川か高野先生、新海氏に、ぜひとも三宅島にいらして、この謎のトリノフンダマンの仲間の卵のうの正体をあいてもらいたいものです。



不明のトリノフンダマンの卵のうです。

2.6cm

▶ 成台 智美 さんより

● 映画に出ているクモ

私にとっては、これがはじめての投着なのですが、観察採集は、遠くからでも、金銭面でいけるのは、宮崎で採集していきたくて、先ず「青い珊瑚礁」という映画をみました。その中で、クモがでてきたのは、頭部は褐色、腹部はカイトのまゆのよう白色、ふわふわした感じ、脚は赤褐色のしま模様だったとき思いました。一杯にクモが出たときは、網をかけた名前がわかりました。そして名前がわかって、熱帯地方の熱帯産のものではないかと思えます。

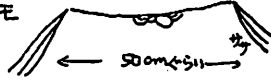
一つ、これはお願いなのですが、「クモのポケット図鑑」をつくっていただけませんか。私のような未熟者には図鑑は必需品なのですが、採集に重い図鑑をもって行くのはきついです。何かとポケット図鑑のほうがいいのです。植物・鳥・蝶・水棲昆虫 etc は、ポケット図鑑があるのにか？ できれば、できるだけ安くついでいたうらやまが、よろしくおねがいします。

私は映画を見ていないので何ともいえませんが、映画を見た方、また何というクモであるかわかる方は、おしえてあげて下さい。(編集)

う。すうと白らんでいいる。クヌギ・コナラの幼葉が出てきているためだろう。つやつやした白っぽいクヌギの幼葉が枝にたれているのが思ひだされる。

西吾野から子ノ権現へ…(沢ぞいの上手にて)

植物…ヤマブキ(F・花) スミレ(F)
 キランソウ(F) ムラサキケマン(F) キケマン(F) ハコベ・ウンハコベ(F)
 蜘蛛…コハナグモ



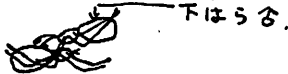
ナンゴクツグモ・アスマキツグモ♀
 ツロカネグモの類♀+3. ユウレイグモ・
 マミツロハエトリ. カラフトオニグモ♂
 クスミサラグモ♂♀…交配しているものが
 多かった。交配に35分以上のものがあった。



①下にいる♂が第1脚で交互に巣をた
 たきながら早に近づく。第2脚も
 とおり使う。にどりよるようにトよ
 めに近づく。

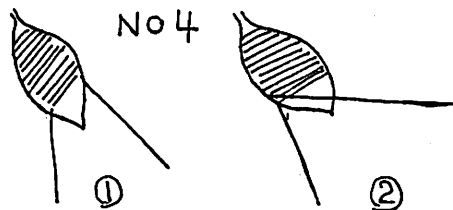
②早も第1脚を使いながら近づく。

③早がとまると♂がそのまま寄る
 ♀が下にいることが多く早はにげたよ
 うになっているのが多かった。

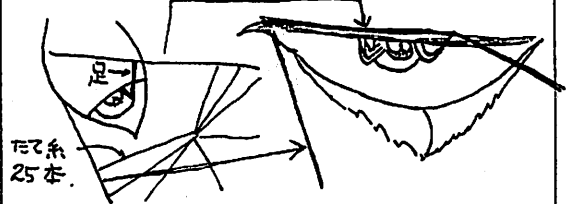


子ノ権現…メガネドヨウオニグモ
 ♀♀・オニグモ♀幼・カラスハエトリ
 ♀♀+2~3. ヤリグモ・クサグモ+4.
 ヤマヤチグモ-2 ユノハマサラグモ
 ・ホナグモ(アリグモ・メガネアサ
 ハエトリ?)この2種はツバキの葉
 にて。

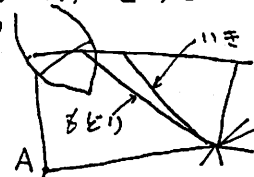
浅見茶屋…アオオニグモ No4に
 記録したように、今までアオオニグモ
 の住居(かくれている所)からのひる
 糸は①のようになっていたと思ってい
 たが、よくみると、今回の場合一方
 より出ていることがわかった②。これ
 からよくみておくこと。



第1脚をその一方の糸にかけてエサ
 がかかるのを待っていた。基節・鞍節
 は葉の中・たい節より外に出ている。

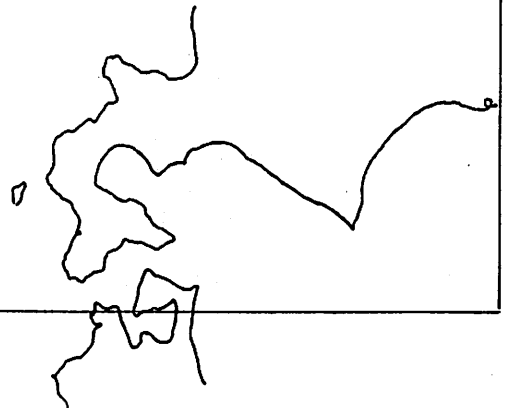


スリ「ボをあてるとクモがおどろいて
 こってくる。たまたまかかっていた虫(
 1~2mm)をとらえてすみやかにもどる
 もどったあとをみると2本糸が増えて
 いた。



アオオニグモをおどすと、下におちた
 。2分ほど糸をたぐってもどる。集
 めた糸は上の図のAのところにつけて
 巣にすみやかにもどってしまった。
 その他、バラギヒメグモ・コクサグモ
 野帳のまま載せてみましたので説明
 のたらない部分があるとは思いますが、
 だいたいの様子や見かたをつかんで
 いただけただけではないでしょうか。そ
 れでは、語をもどしてみたいと思いま
 す。……

北海道の1日目の野帳は、江差方面
 にむかう電車の中から始まっています
 。5月18日(晴れ)山に雪が残って
 いる。どこでも田植の時期。(これは
 東北と同じ)山間部は、まだ木々の芽
 ぶきは初期段階である。山間部をすぎ
 ると、かなり芽がのびてきている。
 こんな記録から始まっています。こ
 の先は、次回の通信でお知らせしよう
 と思います。



会計局 だより

郵便振替 東京 7-74885

・会費受領報告 (敬称略)

55年度 原 勝司・福山研二・山川 守・大河内 哲二・吉田 哉・馬場 武彦
島根勝美・成合智美・浜村徹三・野戸 章・田中穂積・池田 博明

・御寄付

景山純孝氏 東亜珈琲学会会員

・バックナンバー等販売

8月の東亜珈琲学会東京大会において KISHIDAIA バックナンバーと、
中平清氏著「クモ 詠義」を販売しました。その他の文献販売における
収入金の領収は、次回にできることと思われます。

・臨時支出

印刷機の購入についての決議が可決されましたので、
2万円を臨時支出いたしました。この件は運営委員会を通さないので、
物品購入後の請求でしたので、会計局としては決しかねましたので、今回
総会にはかり決議していただきました。

・会計局が 新住居表示により変わりました。

〒190-11

東京都西多摩郡羽村町羽加美三丁目六番三一号

熊田 憲 一方

(会計についての御質問・御意見は、通信紙面 及び 会計局まで)

談話室

・萱島 泉 先生 古稀記念誌 について

通信32号と別便で、おねがいをいたしましたように、「萱島 泉
先生古稀記念誌」について、再度お願い申し上げます。萱島先生
古稀へのお祝いのことばや、先生にまつわる諸々の思い出など
皆様からお寄せいただきたく存じておりますが、お早めにお寄
せ下されば幸いです。なお協力金の集ま、貝台も、おかげさま
で順調で、もう一息というところです。

原稿は、刷り上り1～2ページぐらいのものが、多くの方の
お言葉をのせられると思っておりますので適当かと存じます。(400字
詰原稿用紙で、3～7枚です。)

上記、簡単ですが「萱島先生古稀記念誌」への投稿を再度、
お願い申し上げます。

(松本 誠治)

伝言板と掲示板

・採集会結果報告

去る10月10日の高尾山での採集会では、20名の参加をいただき盛大に行なわれました。

手紙での連絡にもありましたが当日は116種の世界新記録を回指して、参加者(松本・鈴木(勝)・大野(雄)・利岡・松浦・島根・蓮沼・高橋・佐藤・日下部・堀越・浅間・谷川・山本・古浜・新海・池田・熊田・栗原・貞元)(敬称略)の20名は、目を皿の様にしてクモを求めて採集開始、自然研究6号路E、琵琶滝まで登り、裏道を下って再びケーブルの高尾山口駅、この時点で約100種あと十数種足りません。一行は川を渡り林の中で、四つん這いになり林床を探し回る者、ネットでスイーピングをする者など様々、その甲斐あってか115種あと1種、鈴木氏と山本氏は、ゲボウグモを求めて枯木たまたま、その真最中に貞元氏の「とれたー」という声林の中に入っていた氏は、なんと116種目の記念すべきクモ、「マジロオヒキグモ」を採集したのです。斯して、1日での採集種数の世界新記録を達成した談話会会員諸氏は、意気揚揚と引き上げていきました。

(狂 殊)

・慶事板 Part VI

31号よりお知らせしてまいりました方の結婚が決定いたしましたその方のお名前は、

栗原輝代子さんです。

結婚式は、11月18日(火)です。

(D.C.I.A)

・KISHIDAIA 編集より

萱嶋先生古稀記念誌発行以前に、KISHIDAIAをあと1~2号を出したいと思っておりますので、皆様、原稿をお寄せ下さい。(嶋田)

・本号では、会計報告が出来ませんでしたが、34号で収支決算の報告ができると思います。

(会計局)

・34号では、談話会図書追加リストがのります。

(事務局)

・34号は、新年号になると思います。原稿や記事ばかりではなく、会員の皆様の近況報告やちょと気になる事、疑問に思っていることなど、なんでも結構ですのでお寄せ下さい。

(通信編集)

・談話会会員名簿(80年8月末日現在)が出来上りました。近いうちに皆様の所へ届くと思います。

名簿は、梅林さんが作って下さいました。

万一、誤字、脱字がありましたら、また住所変更等がありましたら、すみやかに事務局か会計局へお知らせ下さい。

(事務局・会計局)

・梅林さん、毎年ありがとうございます。

(談話会一同)

東京蜘蛛談話会

— 通信 33号 —

・本部

191 東京都日野市豊田1896

萱嶋 泉 方

TEL 0425-81-7128

・編集・発行責任

211 神奈川県川崎市中原区荏宿612

松浦 祐司

TEL 044-422-2842

1980年11月5日 発行